

農林水産省
青果物流通標準化検討会 コード・情報分科会

納品伝票エコシステムの取組

伝票電子化サービスの標準化に向けて

2023.2.2

ウイングアーク1st株式会社

- **01** WingArc1st ご紹介
- **02** 伝票電子化サービス
- **03** 納品伝票エコシステム 伝票電子化サービスの標準化

WingArc1st ご紹介

01

会社概要

商号	ウイングアーク1st株式会社（英文表記：WingArc1st Inc.）		
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木三丁目2番1号 六本木グランドタワー		
創業	2004年3月		
資本金	10億8,400万円（2022年2月現在）		
代表者	代表取締役 社長執行役員CEO 田中 潤		
決算期	2月		
売上高	198億（2022年2月末）		
従業員数	連結717人／単体623人（2022年2月末現在）		
グループ会社	株式会社リテールマーケティングワン 文雅科情報技術(上海)有限公司 WINGARC SINGAPORE PTE. LTD.	株式会社Everforth 文雅科情報技術(大連)有限公司 WINGARC AUSTRALIA PTY LTD	株式会社 traevo

JAPAN

9拠点



GLOBAL

4拠点



わたしたちが提供する価値

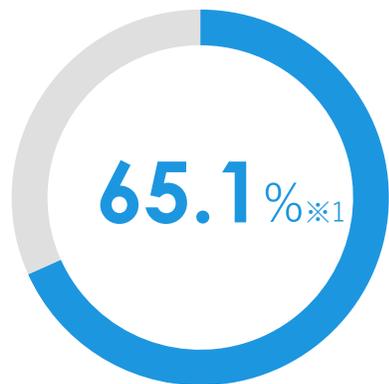
Empower Data, Innovate the Business,
Shape the Future.

情報に価値を、企業に変革を、社会に未来を。

ウイングアーク1stは、データ活用のための革新的なソフトウェア・サービスを提供することで、
さまざまな企業のイノベーションを支援し、社会の未来をつくっていきます。

■ 帳票・文書管理はシェア65.1%、帳票や伝票の出力に弊社製品をご活用頂いています。

帳票／文書管理



国内シェアNo.1

帳票出力



国交省 加工食品物流ガイドライン 実証事業

文書管理



国交省 加工食品物流ガイドライン 実証事業
加工食品業界 伝票電子化プロジェクト
旧製品名称「SPA」「SPA Cloud」

データ活用



国内シェアNo.1

データ分析



車両動態管理プラットフォーム

データ集計



物流KPI



クラウド

全てのプロダクトが
クラウドサービスに対応



サポート

国内開発拠点をもち、
カスタマーサクセスを支援



パートナー

300社+の事業者と
パートナービジネスを展開

※1 出典：株式会社デロイトトーマツミック経済研究所「帳票設計・運用製品の市場動向 2021年度版」（帳票運用製品）

※2 出典：ITR「DBMS/BI市場2021」データ分析／レポート市場：ベンダー別売上金額推移およびシェア

■ 国土交通省 加工食品物流ガイドライン策定に向けて、実証実験を実施。 [2020年3月]

荷主と運送事業者の協力による 取引環境と長時間労働の 改善に向けたガイドライン

加工食品物流編

国土交通省 経済産業省 農林水産省 厚生労働省

取組み事例

電子伝票クラウドによる検品時間、コストの削減

- 1 実施者の概要**
 - 発荷主(食品製造業)、着荷主(卸業者)
 - 荷種:家庭用の菓子食品
- 2 背景・課題**
 - 発荷主から着荷主への納品業務では、出荷指図書、送り状、受領書、荷札など様々な紙伝票が用いられている。
 - 納品業務の効率化、時間短縮、正確性は、現場の熟練度に依存している。
 - 紙伝票を電子伝票クラウドで代替すること、及び、発荷の商品コード、日付、製造ラインをQRコード表示で代替することによる検品時間、コストの削減を検証する。
- 3 事業内容**

【目的】 電子伝票による荷主企業、運送事業者(ドライバー)の検品時間、コスト削減の導入効果を検証。

【内容】 元発荷主が作成する出荷指図書などの伝票情報、着荷主が作成する発注No.を電子伝票クラウドに登録。

 - 電子伝票クラウドにアクセスするためのQRコードをドライバーに引き渡し。
 - 発荷主に商品コード、日付、製造ラインを示すQRコードを貼付。
 - 着荷主における「荷卸し」検品の時間を計測、検品方法を調査。
 - 納品時にタブレットによる明細確認、伝票修正、捺印、サインを実施。
- 4 結果**

数値は実証実験結果からウイングアーク1stが推計

 - 発注と納品の差異やミスを出荷前に確認可能。
 - 商品コード、日付のQRコード化によって検品時間を削減可能* (配送箱数800箱の場合、最大40分削減)。
 - 紙伝票の持ち回り(年間980万円)、保管(年間590万円)にかかるコストを削減可能。

* 荷卸し商品の全数を検品する前提の運用の場合のみ
- 5 荷主企業・運送事業者のメリット**
 - 出荷、納品の状況がリアルタイムでわかるようになり、トラック便手配の無駄がなくなる。
 - 人手による明細確認がなくなり、高齢者等ドライバー確保の選択肢が広がる。
- 6 結果に結びつけたポイント/今後の展開**
 - 発荷主企業、着荷主企業と現場の問題点を確認。
 - 標準化団体と共に商品コード、日付に関する標準化状況を加工食品以外も含めて状況を確認。
 - QRコードを生成、貼付、検品していただくことで運用上の課題を認識。
 - 今後は、電子伝票クラウドの運用上の課題を洗い出し、荷主企業・運送事業者への導入範囲と効果を高める。



WingArc1st から提供した技術

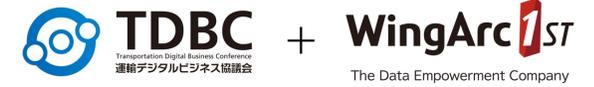
伝票データ活用

invoiceAgent
文書管理

QRコード出力

SVF

■ 発荷主（メーカー）では、GS1-QRコード、発注NoリストQR、納品明細発注QR作成を実施。



QRコード印刷アプリ画面



ラベルプリンタによるQRコード印刷

梱包へのGS1-QRコード印字による検品時の入力時間短縮



発注NO.リストQR



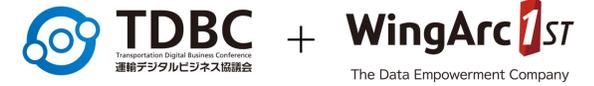
納品明細QR



倉庫内でのパレット積載状況

発注NO.リストのQRコード化による入力時間短縮
伝票の明細情報をQRコード化し、入力業務を効率化

■ 着荷主（卸事業者）では、QRコード検品、電子伝票による受領を実施。



納品明細QRの読み取り

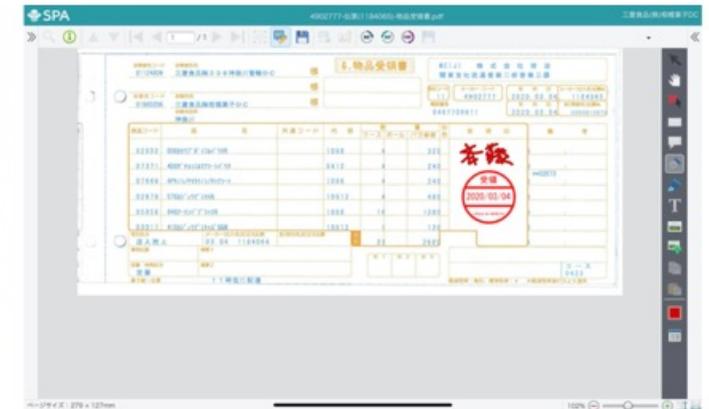


リーダー端末（iPod Touch）アプリによるQR検品画面

伝票の明細情報をQRコード化し、入力業務を効率化



QRコード



電子伝票へのサイン、捺印

納品伝票、受領書の電子化による業務の効率化
梱包へのGS1-QRコード印字による検品時の入力時間短縮